

路線バス志島循環線 運行方法について（案）

令和元年10月から令和2年9月の年間乗車人員は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、17,926人と大幅に減少しました。

志摩市地域公共交通網形成計画では、阿児地域生活路線の再編成を重点施策としており、現在、安乗線と志島循環線の再編を検討しています。課題となっていた、志島循環線と安乗線の重複した時間帯の運行については、令和3年度より早朝の通勤時間、夕方の帰宅時間帯を除く日中の安乗線のダイヤを変更することにより、重複を解消します。

志島循環線については、当面は運行形態を維持することとし、並行して安乗線と合わせて効率的な運行形態を検討していくこととします。